



和訳文

2010年11月4日

## BNP パリバグループ 2010 年度第 3 四半期決算報告書

### 2010 年度第 3 四半期: 純利益 19 億ユーロ (前年同期比 46%増) ビジネスモデルの有効性を再び実証

2010 年度第 3 四半期 前年同期比 営業収益 108 億 5600 万ユーロ +1.8% リスク費用 -12 億 2200 万ユーロ -46.9% 税引前利益 31 億 5100 万ユーロ +28.9% 12 億 4400 万ユーロ x2.2 うち リテール・バンキング コーポレートバンキング・投資銀行 (CIB) 事業部門 12 億 5900 万ユーロ -7.3 % 4 億 9500 万ユーロ +19.3 % 資産運用および証券管理事業部門

- ●リテール・バンキングの業績が回復した結果、部門全体の収益貢献のバランスを取り戻した。
- ●リスク費用の減少傾向が確認された。

# 2010 年度 9 ヵ月間累計: 力強い資本創出力により当グループのソルベンシーは高水準へ上昇

● 純利益: 62 億 9300 万ユーロ (前年同期比 +40.9%)

● 年率税引後株主資本利益率:13.2% (前年同期 11.0%)

● 1 株当たり純利益(9 ヵ月間): 5.1 ユーロ (前年同期 3.7 ユーロ)

2010年9月30日現在 2009年12月31日現在

コア TIER 1 比率 9.0% 8.0% 11.2% 10.1%

#### BNP パリバ・フォルティス: 広範囲におよぶ統合計画の急速な推進

- ●統合プロセスは順調に実行 グループの専門性の確認
- シナジー効果による計画の前倒し

#### 実体経済への資金供給の原動力となる



2010 年 11 月 3 日に、BNP パリバ取締役会が開催され、ミッシェル・ペブロー会長が議長を務める中、当グループの 2010 年度第 3 四半期および、2010 年度 9 ヵ月間累計の業績を検討しました。

#### 四半期純利益 19 億ユーロ

当四半期 BNP パリバは、不確実な経済環境にもかかわらず、積極的な実体経済への資金供給とリスク費用の減少傾向を確認し、非常に良好な業績を収めることができました。当グループの(株主帰属)純利益は 19億 500 万ユーロとなり、2009 年度第 3 四半期比で 46.0%増加しました。この業績により、当グループのビジネスモデルの有効性が再び実証されました。

営業収益は 108 億 5600 万ユーロと 2009 年度第 3 四半期比で 1.8%増加し、リテール・バンキング事業部門と資産運用および証券管理事業部門の大幅な増収により、2009 年度第 3 四半期には高水準だったコーポレートバンキング・投資銀行(CIB)事業部門の減収を埋め合わせました。自社発行社債については、再評価により当四半期も評価減が発生しました(2009 年度第 3 四半期 3 億800 万ユーロの評価損に対し 1 億 1000 万ユーロの評価損)。営業費用は 66 億 2000 万ユーロと 9.7%増加しました。この負のジョーズ効果は、事業再構築費用(フォルティスの統合開始当初の2009 年度第 3 四半期には 3300 万ユーロだったのに対し 2010 年第 3 四半期は 1 億 7600 万ユーロでした)と、2009 年度第 3 四半期には例外的に低コスト基盤だった CIB に係るコストがその時点ではさほど重要ではないと捉えられていたことに起因しています。リスク費用が 12 億 2200 万ユーロすなわち、融資残高の 72 ベーシスポイントに大幅に減少(2009 年度第 3 四半期に比べ 29.6%増加しました。税引前利益は 31 億 5100 万ユーロ(28.9%増)となりました。コーポレートバンキング・投資銀行事業部門(CIB)と資産運用および証券管理事業部門の業績は、好調を維持し、リテール・バンキング部門における 2 倍以上の収益の回復が部門全体の収益貢献バランスを回復させました。

2010 年度 9 ヵ月間累計で、当グループの営業収益は、2009 年度同期間比 11.4%増の 335 億 6000 万ユーロとなり、営業総利益は 7.7%増加しました。営業収益は連結範囲変更および為替レート変動による影響を除くと前年同期比ほぼ横ばい(0.3%減)で、営業費用(事業再構築費用を除く)は 1.0%減少しました。リスク費用は 36 億 4000 万ユーロと前年同期比で 43.7%の大幅な減少となりました。その結果、株主帰属純利益は前年同期比 40.9%増の 62 億 9300 万ユーロとなりました。この堅調な業績は当グループの資本創出力を証明しており、そのさらなる向上にもつながっています。

普通株 1 株当たりの純利益は前年度同期間の 3.7 ユーロに対し 5.1 ユーロとなりました。年率換算株主資本利益率は当期間で 2.2 ポイント上昇し 13.2%となりました。

BNP パリバ・フォルティスおよび BGL BNP パリバ各社の BNP パリバグループ内への統合は、すべての事業部門、管理部門、海外拠点における全従業員のサポートにより速やかに進んでいます。 2010 年度の 9 ヵ月間でシナジー効果については、2009 年度に既に計上されている 1 億 2000 万ユーロに加え、2 億 9200 万ユーロが追加計上されました。この効果の半分以上は CIB 事業部門から生まれています。これらの既に計上されている 4 億 1200 万ユーロに加え、既に実施済みであるものの会計上第 4 四半期に反映されるシナジー効果が 2 億ユーロあります。このように、統合努力により創出された総額 6 億 1200 万ユーロに上るシナジー効果は、既に公表されている計画に対し 6 ヵ月前倒しで達成されました。



#### 極めて好調な業績

当四半期において、当グループの全ての事業部門が事業展開を推し進め、グループの業績に大いに 貢献しました。

#### リテール・バンキング事業部門

#### フランス国内リテール・バンキング (FRB)

フランス国内リテール・バンキングの銀行ネットワークは、引き続きお客様へのサービス提供に注力しました。融資残高は、2009 年度第 3 四半期比 3.3%増の 44 億ユーロとなりました。法人顧客向け融資が引き続き低迷(残高:2.3%減)している一方で、住宅ローン残高は低金利とフランスの住宅用不動産市場の活況とが相まって、8.6%増と非常に堅調に推移しました。 預金は 2009 年度第 3 四半期比 4.7%増の 48 億ユーロとなり、融資残高の伸びを上回りました。これには当座預金(11%増)と普通預金(3.4%増)の増加によるものです。

営業利益<sup>1</sup>は2009年度第3四半期比3%増の17億900万ユーロとなりました。 純利息収入は、残高が増加したものの、Livret A(非課税貯蓄性普通預金)の金利の上昇が不利な影響を及ぼし、3.5%増にとどまりました。手数料収入は、家計から市場への投資が依然として慎重なことにより不利な貯蓄環境の中で2.3%の低い伸びにとどまりました。

営業収益の増加に加え、営業費用の増加が 2.0%にとどまったことにより、フランス国内リテール・バンキングの銀行ネットワークの営業総利益は5.2%の上昇となりました。

リスク費用は減少傾向を見せ始め、融資残高の 31 ベーシスポイント (2009 年度第 3 四半期 39 ベーシスポイント、2010 年度第 2 四半期 34 ベーシスポイント)になりました。

フランス国内リテール・バンキング事業の純利益の3分の1を資産運用および証券管理事業部門に配分した後の税引前利益は、PEL/CELの影響を除くと、4億1200万ユーロに上り、2009年度第3四半期に比べ12.6%の大幅増加となりました。

2010 年度 9 ヵ月間累計で、営業収益<sup>1</sup>は 6.1%の増加、営業費用は 4.6%の増加となりました。その結果、対利益コスト比率は、1.0 ポイント改善し、64.7%になりました。このような好調な業績に加え、リスク費用の小幅な減少(5.0%減)により、フランス国内リテール・バンキング事業の純利益の 3 分の 1 を資産運用および証券管理事業部門に配分した後の、当該期間の FRB の税引前利益は 12.4%増と大きな伸びを示しました。

#### BNL バンカ・コメルシアーレ (BNL bc)

難しい経済環境下で、BNL bc は、引き続き事業展開プランを推進しています。マーケットシェアは安定または成長しているものの、融資残高は 2009 年度第 3 四半期比で 0.6%とわずかに減少しました。法人顧客の設備投資向け融資の増加が、運転資金融資と個人融資の下落を補えきれなかったものの、2010 年度第 2 四半期と比較すると、1 年間の低迷を抜け出して安定しつつあるといえます。

<sup>1</sup> PEL/CEL の影響を除き、フランス国内プライベート・バンキングの 100%を含む。



預金については、個人および中小企業の当座預金の増加により、当四半期で 1.5%の増加となりました。BNL bc は引き続き投資信託市場を中心に貯蓄市場でシェアを維持しています<sup>2</sup>。

営業収益<sup>3</sup>については、預金残高の大幅な増加がもたらした純利息収入の増加(1.2%増)により、2009 年度第 3 四半期比 0.7%増の 7 億 6500 万ユーロとなりました。手数料収入はわずかに減少(0.3%減)しました。

バンカ UCB およびフォルティス・イタリアの業務統合によるシナジー効果により、営業費用  $^3$  は 2009 年度第 3 四半期に比べ 0.9%減少し、営業総利益が 2.8%増加したことで対利益コスト比率は 0.9 ポイント改善して 57.3%になりました。

リスク費用については、融資残高の 108 ベーシスポイントとなり、2009 年度第 3 四半期比で 12 ポイント上昇したものの、2010 年年初からは安定して推移しています。

イタリア国内リテール・バンキング事業による純利益の3分の1を資産運用および証券管理事業部門に配分した後のBNL bc の税引前利益は、2009年度第3四半期の1億3000万ユーロに対し、1億1500万ユーロとなりました。

2010 年度 9 ヵ月間累計で、営業収益の 2.3%の増加  $^3$ に加え、営業費用  $^3$ がほぼ横ばい (0.1%増)だったことから営業総利益  $^3$ は、2009 年度第 3 四半期比 5.5%の増加となりました。このような好調な業績は、対利益コスト比率が 57.7%とさらなる改善を示したことにも反映しています。イタリア国内リテール・バンキング事業による純利益の 3 分の 1 を資産運用および証券管理事業部門に配分した後の税引前利益は、前年同期の 4 億 4600 万ユーロに対し、リスク費用が 32.0%増加したことから 3 億 4100 万ユーロとなりました。

#### Belux リテール・パンキング

ベルギーおよびルクセンブルグにおける当グループの新しいリテール・バンキング事業である BeLux リテール・バンキングは営業およびマーケティング努力を引き続き行うことで、新たなフランチャイズの利益を引き続き獲得しており、それは力強い規模拡大にも現れています。また統合計画の推進が民間部門と公共部門の顧客とのクロス・セリングや、力強い規模の拡大を後押ししています。

融資残高は 2009 年度第 3 四半期に比べ 2.0%増加し、特にベルギーやルクセンブルグ国内の住宅ローン (10.7%増)や中小企業向け融資残高 (3.8%増)が増加しました。預金残高は、当座預金 (12.9%増)や普通預金への順調な資金流入と定期預金口座からの流出により 12.2%の増加という 結果になりました。ベルギー国内プライベート・バンキングの運用資産は、524 億ユーロと 2009 年度第 3 四半期比で 14.1%増加しました。

営業収益<sup>4</sup>は、取引額の増加に支えられ、8億3700万ユーロと2009年度第3四半期比で3.3%増加しました。

<sup>&</sup>lt;sup>2</sup>出典: Assogestioni

 $<sup>^3</sup>$ イタリア国内プライベート・バンキングの 100%を含む。

 $<sup>^{4}</sup>$  ベルギー国内プライベート・バンキングの 100%を含む。



統合計画の推進の結果、コストの合理化により、営業費用  $^4$  は 2009 年度第 3 四半期と比較して 2.3%の限定的な増加にとどまり、当四半期の Belux リテール・バンキング事業の営業総利益  $^4$  は 5.8%の増加となりました。

リスク費用は、2009 年度第 3 四半期の 82 ベースポイントから 35 ベースポイントに低下し、適切な水準を回復しました。

ベルギー国内リテール・バンキング事業による純利益の3分の1を資産運用および証券管理事業部門に配分した後のBeluxリテール・バンキングの税引前利益は1億7800万ユーロとなりました。これは2009年度第3四半期の2.7倍にあたります。

2010 年度 9 ヵ月間累計で、営業収益は前年同期比 7.0% 増加したのに加え、営業費用が 2.2% とわずかな増加にとどまったことにより、営業総利益は 20.3% と大幅に増加し、対利益コスト比率 は 3.3 ポイント  $^5$  改善して 70.1%となりました。この非常に堅実な営業成績とリスク費用の大幅な減少 (59.7%減  $^5$ ) により、ベルギー国内リテール・バンキング事業による純利益の 3 分の 1 を資産運用および証券管理事業部門に配分した後の Belux リテール・バンキングの税引前利益は、5 億6900 万ユーロとなりました。これは 2009 度同期間比 2.6 倍  $^5$  にあたりますが、これは 2009 年初頭の市場状況の混乱が 1 つの要因となっています。

#### 欧州・地中海沿岸諸国

事業は引き続き成長を続けていますが、エマージング・リテール・バンキング・ネットワークではこれがより鮮明となっています。ウクライナ以外では融資残高が大きく伸びており(2009 年度第3四半期と比較して 5.7% 増 5)、特にトルコではこれが顕著となっています。ウクライナにおいては、事業再構築が継続中であることから、新規のローンは厳しく選別されています。

営業収益は 2009 年度第 3 四半期と比較して 4.5%増 $^5$ の 4 億 6300 万ユーロとなりました。ウクライナでは残高が低迷していることから営業収益は 15.6% 減少しましたが、ウクライナを除くと 8.3% の増加となりました。

営業費用は地中海沿岸諸国およびトルコにおける事業が引き続き発展していることにより前年同期と比較して 4.8% 増 5 となりました。

リスク費用は融資残高の 130 ベーシスポイントとなっており、2009 年度第 3 四半期と比較して 220 ベーシスポイント減の大幅な低下となりました。税引前利益は 2009 年度第 3 四半期が 1 億 1100 万ユーロの損失だったのに対し、2700 万ユーロの利益を計上しました。

<u>2010 年度 9 ヵ月間累計で</u>、営業収益が 4.2% の減少となる一方で、営業費用は 2.4% の増加  $^5$  となりました。リスク費用の急激な減少(60.1%減  $^5$ )もあって税引前利益は、2009 年度の同期間が 1億 1300 万ユーロの損失だったのに対し、9100 万ユーロの利益となりました。

5 –

<sup>&</sup>lt;sup>5</sup>連結範囲変更および為替レート変動による影響を除く。



#### バンクウェスト

米国において依然として厳しい環境が続く中、バンクウェストの営業収益は 2009 年度第 3 四半期と比較して 0.7%減  $^5$ の 5 億 9900 万ユーロとなり、前四半期と比較して 1.0%の増加  $^5$ となりました。融資残高は前年同期比 3.9%の減少  $^5$ となりましたが、企業融資の回復 (残高 1.4%増  $^5$ ) や自動車と RV 車のローン需要が牽引した消費者貸付 (残高 2.1%増  $^5$ ) によって、前四半期との比較では安定して推移しました。コア預金が急激かつ継続的に増加 (残高 7.6%増  $^5$ ) したことにより、預金は 0.8%の減少にとどまりました。

年初からの企業支出の回復と米国の新たな規制環境の影響により、営業費用は連結範囲変更および 為替レート変動の影響を除外すると前年同期比 8.4%増加しました (2010 年度第 2 四半期との比較 では 0.8%  $^{5}$  )。

バンクウェストのサブプライムモーゲージのエクスポージャーは低かったため、担保権実行なども無視できる程度のものです。リスク費用は融資残高の 107 ベーシスポイントであり、高い水準にあった 2009 年度第 3 四半期の 363 ベーシスポイントと比較して大幅に低下しました。引き続きローンポートフォリオを改善したことにより、前四半期と比較しても 25 ベーシスポイントの低下となりました。

リスク費用の大幅な減少により、2009 年度第3四半期が税引前損失6000万ユーロだったのに対し、 当四半期は1億6800万ユーロの税引前利益を計上しました。

2010 年度 9 ヵ月間累計は、営業収益 (0.6%増 $^5$ ) と営業費用 (0.7%増 $^5$ ) の緩やかな増加に加え、リスク費用の大幅な減少 (59.5%減 $^5$ ) により、前年度同期間が 1 億 4800 万ユーロの税引前損失であったのに対し、4 億 1700 万ユーロの税引前利益を計上しました。

#### パーソナル・ファイナンス

パーソナル・ファイナンス部門は良好なリスクおよび収益環境の下で、引き続き営業およびマーケティング努力を行ってきました。営業収益は合計で 12 億 5600 万ユーロとなり、当該期間の融資残高の伸び(連結範囲変更および為替レート変動の影響を除いた場合は 4.3%増)に支えられ、2009年度第 3 四半期と比較して 13.9%の増加となりました(連結範囲変更および為替レート変動の影響を除いた場合は 3.6%増)。当四半期では、特にフランスとオランダにおいて新規住宅ローンの件数が増加し、ドイツ、ラテンアメリカおよびロシアにおいては新規消費者ローン件数が増加しました。

構造的なコスト削減プログラムや短期マーケティング費用削減プログラムに象徴される 2009 年以降、その反動により事業支出が増加し、営業費用は 2009 年度第 3 四半期と比較して 14.2%の増加となりました(連結範囲変更および為替レート変動の影響を除いた場合は 5.6%増)。その結果、当四半期の営業総利益は 13.6%増の 6 億 9300 万ユーロ(連結範囲変更および為替レート変動の影響を除いた場合 2%増)となり、対利益コスト比率は 44.8%を維持しました。

リスク費用は融資残高の 224 ベーシスポイントとなり、フィンドメスティックの完全統合による連結範囲変更の影響にもかかわらず、2009 年度第 3 四半期の 276 ベーシスポイントに対し低下し、前四半期からの低下傾向が確認されました。



これを背景として、税引前利益は 2009 年度第 3 四半期の 2 倍以上となる 2 億 4400 万ユーロに急増しました。

2010 年度 9 ヵ月間累計で、営業収益の増加(前年同期間比 5.2%増  $^5$ )に加え、営業費用管理による効果 (3.8%増  $^5$ )により、パーソナル・ファイナンス部門の営業総利益は 6.5%  $^5$ 増加し、さらに対利益コスト比率も 0.6 ポイント  $^5$  改善して 46.0% となりました。リスク費用は依然として高いものの、6.6% 減少しました。当四半期の税引前利益は 6 億 2100 万ユーロと大幅に増加 (54.7%増  $^5$ ) しました。

#### エクイップメント・ソリューション

中古車両価格の回復とリース事業がよく持ちこたえたことで、エクイップメント・ソリューション部門の営業収益は 2009 年度第 3 四半期と比較して 12.2%増の 3 億 7700 万ユーロとなりました。営業収益の増加に加え、営業費用の増加(4.1%増)が限定的であったこととリスク費用が減少(15.9%減)したことにより、営業総利益は大幅に増加(23.6%増)し、その結果、税引前利益は1億ユーロ(2009 年度第 3 四半期比 78.6%増)となりました。

2010 年度 9 ヵ月間累計においては、大幅な営業収益の増加(37.1%増)に加え、営業費用の増加(9.4%増)が限定的であったことやリスク費用が安定していたことにより、税引前利益は 2009 年度同期間の 6600 万ユーロに対し、3 億 2000 万ユーロと大幅な増加となりました。

#### 資産運用および証券管理事業部門

運用資産は8870億ユーロとなり、2009年9月30日時点との比較で6.9%の増加、2010年6月30日時点との比較でも1.4%の増加となっており、好調な運用成績が不利な為替レートの影響を補っています。投資家の強いリスク回避指向を背景として、当四半期の純資産流入額はほぼ横ばい(1億ユーロ減)となりました。特にグループの国内市場およびアジア地域において、プライベート・バンキング事業(18億ユーロ)、保険(22億ユーロ)および個人投資家(4億ユーロ)からの資産流入が好調であり、インベストメント・パートナーズのマネーマーケットおよび株式ファンドの流出(47億ユーロ減)を補う結果となりました。

当部門の営業収益は運用資産の増加と事業ミックスの多様性に支えられ、2009 年度第 3 四半期と比較して 6.5%増の 15 億 2900 万ユーロとなりました。取引のボリュームが限定的であったにもかかわらず、<u>富裕層向け資産運用業務部門</u>の営業収益は、国内ネットワークにおけるプライベート・バンキングの好調な業績とインベストメント・パートナーズの順調な回復もあり安定して推移しました。

保険部門からの営業収益は、フランス国内(22.9%増)およびフランス国外(37.8%増)双方からの総保険料収入により、20.6%と大幅増加となりました。

<u>証券管理事業部門</u>からの営業収益は、預り残高と新規受託の増加が取引量の減少を補って余りあったことから、当四半期では8.6%増となりました。

特に保険および証券管理事業部門に対する成長支援のための投資が引き続き行われていることから、 営業費用は 6.0%増となりました。対利益コスト比率は 2009 年度第 3 四半期と比較して 0.4 ポイン ト改善して 71.3%となり、非常に良好なレベルを維持しました。



国内市場におけるプライベート・バンキング業務の業績の3分の1を含めた後の資産運用および証券管理事業部門の税引前利益は、2009年度第3四半期と比較して19.3%増の4億9500万ユーロとなりました。

2010 年度 9 ヵ月間累計で、資産運用および証券管理事業部門の営業収益は、営業費用が 14.8%増加したこともあって、15.3%増の 45 億 1200 万ユーロとなり、その結果当該部門の営業総利益は 2009 年度の同期間に比べ 16.8%増加しました。この堅実な業績は投資家のリスク回避が顕著な市場環境の中で達成されたもので、また税引前利益においても 2009 年度の同期間に比べ 33.6%増の 14億 3500 万ユーロを計上することができました。

#### コーポレートバンキング・投資銀行(CIB)事業部門

CIB 事業部門は、顧客本位の多様なビジネスモデルが寄与し、当四半期においても堅調な業績を上げました。当部門の営業収益は 28 億 7300 万ユーロと 2010 年度第 2 四半期と比較して 7.0%増、好調であった 2009 年度第 3 四半期と比較しても 17.4%の減少にとどまりました。同業他社と比較しても良好な当部門の業績は、グループ全体の業績への貢献度合いが回復する中で達成されました。

フィクスト・インカム業務の営業収益は、仕組商品からのビジネスが減少する中で、金利市場およびクレジット市場のフロー商品の取引量が回復したことにより、12億1100万ユーロと2010年度第2四半期と比較してやや減少(3.7%減)しました。また2009年度第3四半期の高い水準に比べると37.6%の減少となりました。2009年度第3四半期、当部門はユーロ建て債券発行において再び第1位にランキングされました。企業のより具体的な資金需要をサポートすることで、2010年度の9ヵ月間においてユーロ建て社債発行市場のシェア12.2%(2009年との比較で1.9ポイントの上昇)を占めて第1位となり、ヨーロッパにおけるリーダーシップを強化しました。

株式およびアドバイザリー業務の営業収益は、前四半期において依然として市場のリスク回避志向が顕著だったことから、5億2200万ユーロと2倍近くに増加しました(前年同期比17.3%減)。低いボラティリティがより低コストでのヘッジを可能にしました。銀行および保険の営業店舗での元本確保型仕組商品の販売は依然として成長を続けています。コーポレートファイナンス部門は特筆すべき取引によって活発にスタートし、ヨーロッパ市場で好調を維持しています。

ファイナンシング事業の営業収益は、11 億 4000 万ユーロとなり、前四半期と比較してわずかに減少 (1.6%減) しましたが、2009 年度第 3 四半期との比較では 25.7%の増加となりました。当部門はストラクチャード・ファイナンスにおいて引き続き好調を維持しており、特にエネルギーおよびコモディティ・ファイナンスにおいてこれが顕著です。買収ファイナンスは、特にヨーロッパにおいて回復が確認されています。コーポレート&トランザクション・バンキング・ヨーロッパ・プランの展開はグループの意欲的な目的達成を視野に引き続き推進しており、24 ヵ国に 150 の事業センターを展開しております。

当部門の営業費用は前四半期と比較して 4.1%増の 15 億 4600 万ユーロとなりました。これは若干低水準であった 2009 年度第 3 四半期と比較して 9.0%の増加となっています。フィクスト・インカム業務とストラクチャード・ファイナンス業務部門は、特に米国およびアジア地域で好調を維持しました。対利益コスト比率は、依然として業界最良の水準の 53.8%を維持しました。



当部門のリスク費用は 7700 万ユーロとなり、2009 年度第 3 四半期 (6 億 9800 万ユーロ)と比較して大幅に減少しました。ファイナンシング事業においてはリスク費用は実質的に横ばいとなりました (300 万ユーロの戻入れ)。

結果として当部門の税引前利益は 12 億 5900 万ユーロとなり、前四半期との比較で 1.5%の減少、2009 年度第 3 四半期との比較では 7.3%の減少となりました。

2010 年度 9 ヵ月間累計で、CIB の営業収益は 93 億 1000 万ユーロとなり、営業費用の上昇が僅か 1.3%であった 2009 年度 1-9 月期の例外的レベルと比較しても 15.8%の減少にとどまりました。対利益コスト比率は 52.5%で、依然として業界では最良の水準を維持しています。営業収益の回復に加え、リスク費用の大幅な減少により、当部門の税引前利益は 6.0%増加し、42 億 3400 万ユーロになりました。

この好調な業績は金融危機後およびフォルティス統合後も CIB のフランチャイズがリーディングポジションにいることを表しています。また、平均バリューアットリスクが 1 年間で 18%減少したことが明らかにしているように、同時にマーケットリスクの低減も達成されています。今期 CIB に対する資本配賦は7.7%引き下げられました。

#### その他の事業

「その他の事業」からの営業収益は、2009 年度第3四半期の1億9400万ユーロに対し、当四半期は5億5800万ユーロとなりました。これは、グループが発行した社債の再評価(2009 年度第3四半期の3億800万ユーロの評価損に対し、1億1000万ユーロの評価損となっています)と銀行間の請求手続きに関する1回限りの罰金(6300万ユーロ)が影響しています。一方で、除却や早期返済により、フォルティス関連の買収価格の一括償却を行ったことにより、当四半期、営業収益は3億1600万ユーロ増加しました。バンキング勘定の公正価値への調整額の定期的な償却1億6700万ユーロもこれに含まれます。

営業費用は 4 億 1100 万ユーロとなりました(2009 年度第 3 四半期は 2 億 500 万ユーロ)。これには 1 億 7600 万ユーロの事業再構築費用(2009 年度第 3 四半期は 3300 万ユーロ)に加え、当四半期はフランスとベルギーにおける預金保険基金への総額 5900 万ユーロの一括拠出と不動産の評価損失(3000 万ユーロ)が含まれます。

その結果、税引前利益は 2009 年度第 3 四半期の 1 億 3600 万ユーロに対し、1 億 6600 万ユーロとなりました。

#### 金融危機の影響が残る中での堅実なビジネスモデルの採用

当グループは引き続きソルベンシーを外部調達によらない利益により強固なものとしています。 2010 年 9 月 30 日現在、コア Tier 1 比率は年初以来 100 ベーシスポイント上昇し、9.0%の高い水準を達成しました。Tier 1 比率は 11.2%となっています。

BNP パリバは、その吸引力、格付け、ならびに 2010 年の年間資金調達プログラムの達成に貢献した初のドル建てカバードボンド発行の成功に象徴される募集能力により、資金調達源の多様化に高い能力を有しています。その結果、BNP パリバは流動性の面でも競争力を保持しており、厳しい市場環境下にあっても、市場における重要な地位を占めています。



CIB 事業の顧客本位の多様なビジネスモデルが寄与し、現在検討中の新しいバーゼルルールによる、 グループのリスクウェイト資産への影響は大きいものの管理可能なものになると思われます。

CRD3 (バーゼル 2.5 として知られています)下での資本市場業務の新リスクウェイト資産は、約400 億ユーロ増加すると予想されます。この増加は、BNP パリバの保守的なリスク測定方法や年初来の市場リスク削減を考慮すると限定されたものとなります。CRD4 (バーゼル 3 として知られています)の下では、資本市場におけるリスクウェイト資産は主として信用価値修正(CVA)に関連してさらに増加し、概算で 200 億ユーロに達すると予想されています。これらの 2 つの変更の影響で、リスクウェイト資産は、2010 年 6 月 30 日時点の 840 億ユーロに対し、600 億ユーロの大幅な増加が予想されます。

バーゼル 3 では、CIB のファイナンシング業務のリスクウェイト資産は資産価値との相関関係により、概算で 100 億ユーロ増加すると予想されています。

全体として、これらの新たな規制により、当グループのリスクウェイト資産は緩和効果考慮前で700億ユーロ増加することになり、これはコア Tier 1 比率で約 100 ベーシスポイント相当にあたります。

新たな資本控除は 2013 年から 2018 年にかけて徐々に適用され、さらにコア Tier 1 比率の 100 ベーシスポイントにあたる 50 億から 70 億ユーロとなります。これらの試算は説明のためにのみ用いたものです。最終的な影響は規制およびルール実施に関する最終的な内容および BNP パリバの 2018 年の実際のバランスシートに左右されます。

さらに、BNP パリバのソルベンシー比率は、利益剰余金の変動<sup>6</sup> (アナリスト予測では、2010 年度 第 4 四半期から 2012 年度末までにコア Tier 1 比率で約 200 ベーシスポイントの上昇)や、リスクウェイト資産の有機的な増加などの項目によっても変化します。

\*

以上の業績に対するコメントとして、ボードゥアン・プロ最高経営責任者は、次のように述べています。

「BNP パリバは、コーポレートバンキング・投資銀行事業部門ならびに資産運用および証券管理事業部門の堅調な業績とリテール・バンキング部門の回復によって好調な成績を上げました。

この好調な業績は、フォルティス統合計画の速やかな実施によって一層強固なものとなり、シナジー効果は予定より6ヵ月前倒しで達成されています。

企業、投資家および個人が極めて慎重な環境の中でのグループ社員の献身に感謝したいと思います。

BNP パリバのビジネスモデルは金融危機の影響が残る市場環境に適応し、実体経済への資金供給を可能にしています。これはお客様、従業員および株主にとって訴求するものであるはずです。」

 $<sup>^6</sup>$  2010 年 10 月 30 日にブルームバーグがまとめたコンセンサス予測(株式配当なしで配当性向を 3 分の 1 と仮定)



#### 連結損益計算書

	3Q10	3Q09	3Q10/ 3Q09	2Q10	3Q10/ 2Q10	9M10	9M09	9M10/ 9M09
(単位:百万ユーロ)								
営業収益	10,856	10,663	+1.8%	11,174	-2.8%	33,560	30,133	+11.49
営業費用および減価償却費	-6,620	-6,037	+9.7%	-6,414	+3.2%	-19,630	-17,203	+14.19
営業総利益	4,236	4,626	-8.4%	4,760	-11.0%	13,930	12,930	+7.79
リスク費用	-1,222	-2,300	-46.9%	-1,081	+13.0%	-3,640	-6,471	-43.79
営業利益	3,014	2,326	+29.6%	3,679	-18.1%	10,290	6,459	+59.39
関連会社損益	85	61	+39.3%	26	n.s.	179	104	+72.19
その他の営業外項目	52	58	-10.3%	-29	n.s.	198	342	-42.19
営業外損益	137	119	+15.1%	-3	n.s.	377	446	-15.59
税引前利益	3,151	2,445	+28.9%	3,676	-14.3%	10,667	6,905	+54.59
法人税	-951	-918	+3.6%	-1,248	-23.8%	-3,387	-1,952	+73.59
少数株主帰属純利益	-295	-222	+32.9%	-323	-8.7%	-987	-486	n.s
株主帰属純利益	1,905	1,305	+46.0%	2,105	-9.5%	6,293	4,467	+40.9
対利益コスト比率						58.5%	57.1%	+1.4p

BNP パリパの 2010 年度第 3 四半期の財務開示物は、本プレスリリース、およびこれに添付したプレゼンテーションに含まれています。

法令上要求される開示物は全て、登録書類を含めて、http://invest.bnpparibas.com の「Results (業績)」セクションからオンラインで入手可能であり、フランスの通貨金融法典第 I.451-1-2 条 およびフランス金融市場庁 (Autorité des Marchés Financiers) 一般規則第 222-1 条以降の規定に従い、BNP パリパが公表しています。



## 2010 年度第3四半期のコア事業の業績

(単位:百万ユーロ)	リテール・ バンキング事業	資産運用 および証券 管理事業	コーポレート バンキング・ 投資銀行事業	事業部門合計	その他業務	グループ合計
営業収益	5,896	1,529	2,873	10,298	558	10,856
対前年同期比	+6.1%	+6.5%	-17.4%	-1.6%	n.s.	+1.8%
対前四半期比	-0.5%	-0.6%	+7.0%	+1.5%	-45.6%	-2.8%
営業費用および減価償却費	-3,572	-1,091	-1,546	-6,209	-411	-6,620
対前年同期比	+5.5%	+6.0%	+9.0%	+6.5%	n.s.	+9.7%
対前四半期比	+0.4%	+0.3%	+4.1%	+1.3%	+45.2%	+3.2%
営業総利益	2,324	438	1,327	4,089	147	4,236
対前年同期比	+7.1%	+7.6%	-35.6%	-11.8%	n.s.	-8.4%
対前四半期比	-1.8%	-2.9%	+10.6%	+1.8%	-80.2%	-11.0%
リスク費用	-1,129	18	-77	-1,188	-34	-1,222
対前年同期比	-31.9%	+38.5%	-89.0%	-49.3%	n.s.	-46.9%
対前四半期比	-3.0%	n.s.	n.s.	+8.0%	n.s.	+13.0%
営業利益	1,195	456	1,250	2,901	113	3,014
対前年同期比	n.s.	+8.6%	-8.2%	+26.5%	n.s.	+29.6%
対前四半期比	-0.7%	+0.4%	-0.9%	-0.6%	-85.2%	-18.1%
関連会社損益	26	7	12	45	40	85
その他の営業外項目	10	32	-3	39	13	52
税引前利益	1,231	495	1,259	2,985	166	3,151
対前年同期比	n.s.	+19.3%	-7.3%	+29.3%	+22.1%	+28.9%
対前四半期比	+0.4%	+4.7%	-1.5%	+0.3%	-76.3%	-14.3%
(単位:百万ユーロ)	バンキング事業	管理事業	投資銀行事業			
営業収益	5,896	1,529	2,873	10,298	558	10,856
前年同期	5,555	1,436	3,478	10,469	194	10,663
前四半期営業費用および減価償却費	5,925 -3,572	1,539 -1,091	2,685 -1,546	10,149 -6,209	1,025 -411	11,174 -6,620
前年同期	-3,385	-1,091	-1,418	-5,832	-205	-6,037
前四半期	-3,558	-1,088	-1,485	-6,131	-283	-6,414
営業総利益	2,324	438	1,327	4,089	147	4,236
前年同期	2,170	407	2,060	4,637	-11	4,626
前四半期	2,367	451	1,200	4,018	742	4,760
リスク費用	-1,129	18	-77	-1,188	-34	-1,222
前年同期 前四半期	-1,658 -1,164	13 3	-698 61	-2,343 -1,100	43 19	-2,300 -1,081
世 <b>業利益</b>	1,195	456	1,250	<b>2,901</b>	113	3,014
前年同期	512	420	1,362	2,294	32	2,326
前四半期	1,203	454	1,261	2,918	761	3,679
関連会社損益	26	7	12	45	40	85
前年同期	24	-7	1	18	43	61
前四半期	21	17	4	42	-16	26
その他の営業外項目	10	32	-3 -5	39 -3	13 61	52 58
前年同期 前四半期	0 2	2 2	-5 13	-3 17	-46	58 -29
税引前利益	1,231	495	1,259	2,985	1 <b>66</b>	3,151
前年同期	536	415	1,358	2,309	136	2,445
前四半期	1,226	473	1,278	2,977	699	3,676
法人税 少数株主帰属純利益 <b>株主帰属純利益</b>						-951 -295 <b>1,905</b>



## 2010 年度 9 ヵ月間のコア事業の業績

(単位:百万ユーロ)	リテール・ バンキング事業	資産運用 および証券 管理事業	コーポレート バンキング・ 投資銀行事業	事業部門合計	その他業務	グループ合計
営業収益	17,693	4,512	9,310	31,515	2,045	33,560
対前年同期比	+17.2%	+15.3%	-15.8%	+4.8%	n.s.	+11.4%
営業費用および減価償却費	-10,589	-3,202	-4,890	-18,681	-949	-19,630
対前年同期比	+16.7%	+14.8%	+1.3%	+11.9%	+85.4%	+14.1%
営業総利益	7,104	1,310	4,420	12,834	1,096	13,930
対前年同期比	+18.1%	+16.8%	-29.1%	-4.0%	n.s.	+7.7%
リスク費用	-3,459	19	-223	-3,663	23	-3,640
対前年同期比	-18.4%	n.s.	-90.0%	-43.7%	-28.1%	-43.7%
営業利益	3,645	1,329	4,197	9,171	1,119	10,290
対前年同期比	n.s.	+20.9%	+5.1%	+33.5%	n.s.	+59.3%
関連会社損益	68	50	21	139	40	179
その他の営業外項目	21	56	16	93	105	198
税引前利益	3,734	1,435	4,234	9,403	1,264	10,667
対前年同期比	n.s.	+33.6%	+6.0%	+35.6%	n.s.	+54.5%
法人税						-3,387
少数株主帰属純利益						-987
株主帰属純利益						6,293
年率換算株主資本純利益率						13.2%



## <u>四半期決算</u>

(単位:百万ユーロ)	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09	1Q10	2Q10	3Q10
グループ事業							
営業収益	9,477	9,993	10,663	10,058	11,530	11,174	10,856
営業費用および減価償却費	-5,348	-5,818	-6,037	-6,137	-6,596	-6,414	-6,620
営業総利益	4,129	4,175	4,626	3,921	4,934	4,760	4,236
リスク費用	-1,826	-2,345	-2,300	-1,898	-1,337	-1,081	-1,222
営業利益	2,303	1,830	2,326	2,023	3,597	3,679	3,014
関連会社損益	-16	59	61	74	68	26	85
その他の営業外項目	3	281	58	-2	175	-29	52
税引前利益	2,290	2,170	2,445	2,095	3,840	3,676	3,151
法人税	-658	-376	-918	-574	-1,188	-1,248	-951
少数株主帰属純利益	-74	-190	-222	-156	-369	-323	-295
株主帰属純利益	1,558	1,604	1,305	1,365	2,283	2,105	1,905
対利益コスト比率	56.4%	58.2%	56.6%	61.0%	57.2%	57.4%	61.0%
(単位:百万ユーロ)	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09	1Q10	2Q10	3Q10
フランス国内リテール・パンキング(	(フランス国内	プライベート	・バンキングの	の 100%を含む	·*)		
営業収益	1,598	1,621	1,638	1,613	1,749	1,726	1,696
うち受取利息純額	934	945	945	921	1,015	1,006	987
<i>うち手数料</i>	664	676	693	692	734	720	709
営業費用および減価償却費	-1,021	-1,054	-1,140	-1,152	-1,091	-1,109	-1,163
営業総利益	577	567	498	461	658	617	533
リスク費用	-93	-142	-128	-155	-122	-116	-107
営業利益	484	425	370	306	536	501	426
営業外損益	1	0	0	0	0	0	1
税引前利益	485	425	370	306	536	501	427
資産運用および証券管理事業帰属利益	-25	-25	-25	-27	-33	-28	-28
フランス国内リテール・パンキング税	460	400	345	279	503	473	399
<b>引前利益</b> 資本配賦(十億ユーロ、年初来累計)	5.4	5.6	5.6	5.6	5.8	5.8	5.8
		هم هم		<b></b>	1195	4000/1000	
PEL/CEL の影響を除くフランス国内							
<b>営業収益</b>	1,602	1,635	1,659	1,645	1,753	1,732	1,709
うち受取利息純額	938	959	966	953	1,019	1,012	1,000
うち手数料	664	676	693	692	734	720	709
営業費用および減価償却費	-1,021	-1,054	-1,140 <b>-1</b> 0	-1,152	-1,091	-1,109	-1,163
営業総利益	581	581	519	493	662	623	546
リスク費用	-93	-142	-128	-155	-122	-116	-107
<b>営業利益</b>	488	439	391	338	540	507	439
営業外損益	1	0	0	0	0	0	1
税引前利益	489	439	391	338	540	507	440
資産運用および証券管理事業帰属利益	-25	-25	-25	-27	-33	-28	-28
フランス国内リテール・バンキング税	464	414	366	311	507	479	412
<b>引前利益</b> 資本配賦(十億ユーロ、年初来累計)	5.4	5.6	5.6	5.6	5.8	5.8	5.8
フランス国内リテール・バンキング(	イフランフ目中	<b>プニノベ</b> _ L	. 16~,+~,,	ከ 2 ሬ/ጥ 2 <del>* 4</del>	>*> \		
	、ノフンス国内 1,545	フライベート 1,566		ル3万002を言 1,556	-	1,665	1,637
<b>営業収益</b> 労業専用も 5.7%は価償却毒	-993	-1,025	<b>1,580</b> -1,108	-1,123	<b>1,685</b> -1,060	-1,0 <b>05</b>	-1,133
営業費用および減価償却費	-993 <b>552</b>	-1,025 <b>541</b>	-1,108 <b>472</b>	-1,123 <b>433</b>	-1,060 <b>625</b>	-1,078 <b>587</b>	-1,133 <b>504</b>
<b>営業総利益</b>							
リスク費用	-93	-141 <b>400</b>	-127 <b>345</b>	-154	-122 <b>503</b>	-114	-106
<b>営業利益</b>	459			<b>279</b>	<b>503</b>	473	398
営業外損益	1	0 400	0 245	0 <b>270</b>	0 <b>503</b>	0 472	200
税引前利益	460	400	345	279	503	473	399
資本配賦(十億ユーロ、年初来累計)	5.3	5.5	5.6	5.6	5.8	5.8	5.8



	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09	1Q10	2Q10	3Q10
(単位:百万ユーロ)							
BNL パンカ・コメルシアーレ (イタリ							
営業収益	727	741	760	775	759	755	765
営業費用および減価償却費	-426	-445	-442	-488	-433	-443	-438
営業総利益	301	296	318	287	326	312	327
リスク費用	-115	-165	-185	-206	-200	-205	-209
営業利益	186	131	133	81	126	107	118
営業外損益	0	1	0	-1	0	-2	0
税引前利益	186	132	133	80	126	105	118
資産運用および証券管理事業帰属利益	0	-2	-3	-2 	-3	-2	-3
BNL bc の税引前利益	186	130	130	78	123	103	115
資本配賦(十億ユーロ、年初来累計)	4.4	4.5	4.6	4.6	4.8	4.8	4.8
BNL パンカ・コメルシアーレ (イタリ	ア国内プライ	ペート・バン=	キングの 3 分の	02を含む)			
営業収益	722	734	753	766	751	746	757
営業費用および減価償却費	-421	-441	-437	-481	-428	-436	-434
営業総利益	301	293	316	285	323	310	323
リスク費用	-115	-164	-186	-206	-200	-205	-208
営業利益	186	129	130	79	123	105	115
営業外損益	0	1	0	-1	0	-2	0
税引前利益	186	130	130	78	123	103	115
資本配賦(十億ユーロ、年初来累計)	4.4	4.5	4.6	4.6	4.7	4.8	4.8
BeLux リテール・バンキング(ベル	ギー国内プラ	イベート・ノ	<b>(</b> ンキングの	100%を含む	)*)		
営業収益	0	402	810	799	864	836	837
営業費用および減価償却費	0	-309	-568	-610	-598	-599	-581
営業総利益	0	93	242	189	266	237	256
リスク費用	0	-111	-168	-74	-15	-66	-71
営業利益	0	-18	74	115	251	171	185
関連会社損益	0	1	1	-1	0	3	2
その他の営業外項目	0	1	1	-7	2	0	3
税引前利益	0	-16	76	107	253	174	190
資産運用および証券管理事業帰属利益	0	-10	-11	-15	-18	-18	-12
BeLux の税引前利益	0	-26	65	92	235	156	178
資本配賦(十億ユーロ、年初来累計)		0.8	1.6	1.9	2.8	2.8	2.8
Pal U. = . U 152, +2, 167, 184.	* 8±7=	2 A	<b>ドン・ナン・</b> <i>サ</i> の	2/02*	<b>&gt;+</b> \ \		
BeLux リテール・バンキング ( ベル=		383	(ンキンクの 782	3分の2を2766	ಕ್ಟ) 831	804	807
<b>営業収益</b>	<b>0</b> 0	-300	-551	-593	-582	-585	-564
営業費用および減価償却費	<b>0</b>	-300 <b>83</b>	-၁၁1 <b>231</b>	-၁ <del>୭</del> ૩ <b>173</b>	-56∠ <b>249</b>	-၁၀၁ <b>219</b>	-564 <b>243</b>
<b>営業総利益</b> リスク費用	0	-111	-168	-73	-16	-66	-70
	0	-111 -28	-100 <b>63</b>	-73 100	233	153	173
<b>営業利益</b> 関連会社損益	0	<b>-20</b> 1	1	-1	<b>233</b> 0	3	2
	<b>0</b>	1	1	-1 -7	2	ა <b>0</b>	3
その他の営業外項目 <b>税引前利益</b>	0	-26	65	92	235	156	178
祝51即利益 資本配賦(十億ユーロ、年初来累計)	U	-26 0.8	05 1.6	1.9	2.8	2.8	2.8
貝平心肌(I IBユニロ、牛忉木糸計 <i>)</i>		0.0	1.0	1.5	2.0	2.0	2.0

<sup>\*</sup>税引前利益の計算には、プライベート・バンキングの 100%を含む



	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09	1Q10	2Q10	3Q10
(単位:百万ユーロ)							
欧州・地中海沿岸諸国							
営業収益	429	468	452	498	454	463	463
営業費用および減価償却費	-236	-286	-333	-339	-330	-350	-354
営業総利益	193	182	119	159	124	113	109
リスク費用	-162	-218	-234	-255	-89	-92	-89
営業利益	31	-36	-115	-96	35	21	20
<b>関連会社損益</b>	6	-4	4	6	12	-1	;
その他の営業外項目	0	1	0	-1	-3	0	
税引前利益	37	-39	-111	-91	44	20	2
資本配賦(十億ユーロ、年初来累計)	2.6	2.8	2.9	2.9	2.6	2.7	2.8
パンクウェスト							
営業収益	561	552	549	500	533	601	59
営業費用および減価償却費	-309	-316	-267	-275	-288	-322	-32
営業総利益	252	236	282	225	245	279	27
リスク費用	-279	-299	-342	-275	-150	-127	-11
営業利益	-27	-63	-60	-50	95	152	16
営業外項目	1	1	0	1	1	1	
锐引前利益	-26	-62	-60	-49	96	153	16
資本配賦(十億ユーロ、年初来累計)	3.1	3.3	3.3	3.2	3.1	3.2	3
パーソナル・ファイナンス							
営業収益	1,026	1,064	1,103	1,147	1,261	1,250	1,25
営業費用および減価償却費	-508	-509	-493	-558	-576	-592	-56
営業総利益	518	555	610	589	685	658	69
リスク費用	-415	-462	-513	-548	-524	-488	-46
営業利益	103	93	97	41	161	170	22
関連会社損益	14	19	15	13	13	21	2
その他の営業外項目	1	26	-1	5	7	5	
说引前利益	118	138	111	59	181	196	24
資本配賦(十億ユーロ、年初来累計)	3.3	3.4	3.5	3.5	3.8	3.8	3
エクイップメント・ソリューション	40=	004	•••	070	057		
<b>営業収益</b>	197	291	336	376	357	396	37
営業費用および減価償却費	-166	-181	-196	-197	-195	-195	-20
<b>営業総利益</b>	31	110	140	179	162	201	17
リスク費用	-47	-77 22	-88	-95	-65	-72	-7
営業利益	-16	33	52	84	97	129	9
関連会社損益	-4	-3	4	0	-4	-2	
その他の営業外項目	0	0	0	-2	2	-2	
脱引前利益	-20	30	56	82	95	125	10
資本配賦(十億ユーロ、年初来累計)	1.7	1.9	2.0	2.1	2.1	2.1	2



(単位:百万ユーロ) <b>資産運用および証券管理</b> <b>営業収益</b>	1,146						
営業収益	1,146						
	1,146						
		1,330	1,436	1,451	1,444	1,539	1,529
営業費用および減価償却費	-820	-941	-1,029	-1,045	-1,023	-1,088	-1,091
営業総利益	326	389	407	406	421	451	438
リスク費用	-12	-24	13	-18	-2	3	18
営業利益	314	365	420	388	419	454	456
関連会社損益	-9	21	-7	6	26	17	7
その他の営業外項目	-4	-28	2	-5	22	2	32
税引前利益	301	358	415	389	467	473	495
資本配賦(十億ユーロ、年初来累計)	5.0	5.5	5.8	5.9	6.2	6.3	6.3
資産管理(富裕層向け資産運用業務)							
営業収益	546	721	833	835	812	833	834
営業費用および減価償却費	-418	-519	-607	-611	-587	-616	-618
営業総利益	128	202	226	224	225	217	216
リスク費用	-4	-23	-7	-18	1	5	21
営業利益	124	179	219	206	226	222	237
関連会社損益	-2	7	-2	-7	5	4	3
その他の営業外項目	-4	-2	2	-6	23	7	5
税引前利益	118	184	219	193	254	233	245
資本配賦(十億ユーロ、年初来累計)	1.1	1.3	1.5	1.5	1.6	1.5	1.5
保険							
営業収益	299	303	335	345	353	377	404
営業費用および減価償却費	-170	-181	-182	-192	-189	-214	-217
営業総利益	129	122	153	153	164	163	187
リスク費用	-7	-2	17	0	-3	-2	-3
営業利益	122	120	170	153	161	161	184
関連会社損益	-7	13	-6	13	20	14	4
その他の営業外項目	0	-26	0	1	-1	-5	27
税引前利益	115	107	164	167	180	170	215
資本配賦(十億ユーロ、年初来累計)	3.6	3.8	3.9	4.0	4.3	4.5	4.5
証券管理							
営業収益	301	306	268	271	279	329	291
営業費用および減価償却費	-232	-241	-240	-242	-247	-258	-256
営業総利益	69	65	28	29	32	71	35
リスク費用	-1	1	3	0	0	0	0
営業利益	68	66	31	29	32	71	35
営業外項目	0	1	1	0	1	-1	0
税引前利益	68	67	32	29	33	70	35
資本配賦(十億ユーロ、年初来累計)	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3



	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09	1Q10	2Q10	3Q10
(単位:百万ユーロ)							
コーポレートバンキング・投資銀行							
営業収益	3,728	3,851	3,478	2,440	3,752	2,685	2,873
営業費用および減価償却費	-1,772	-1,635	-1,418	-1,349	-1,859	-1,485	-1,546
営業総利益	1,956	2,216	2,060	1,091	1,893	1,200	1,327
リスク費用	-697	-844	-698	-234	-207	61	-77
営業利益	1,259	1,372	1,362	857	1,686	1,261	1,250
関連会社損益	-2	4	1	18	5	4	12
その他の営業外項目	2	3	-5	-5	6	13	-3
税引前利益	1,259	1,379	1,358	870	1,697	1,278	1,259
資本配賦(十億ユーロ、年初来累計)	13.4	15.2	15.3	15.1	14.3	14.1	14.1
アドバイザリーおよびキャピタル・	マーケット						
営業収益	2,931	3,039	2,571	1,380	2,719	1,526	1,733
ロネル血 営業費用および減価償却費	-1,484	-1,281	-997	-985	-1,460	-1,053	-1,129
台業総利益	1,447	1,758	1,574	395	1,259	473	604
リスク費用	-277	-304	-273	-86	-127	-57	-80
営業利益	1,170	1,454	1,301	309	1,132	416	524
関連会社損益	-2	0	2	1	1	0	2
その他の営業外項目	2	5	-7	-3	7	12	-8
税引前利益	1,170	1,459	1,296	307	1,140	428	518
資本配賦(十億ユーロ、年初来累計)	6.2	7.0	7.0	6.8	6.1	5.9	5.9
ファイナンシング業務		242		4 000	4 000	4 450	4.440
営業収益	797	812	907	1,060	1,033	1,159	1,140
営業費用および減価償却費	-288	-354	-421	-364	-399	-432	-417
営業総利益	509	458	486	696	634	727	723
リスク費用	-420	-540	-425	-148	-80	118	3
営業利益	89	-82	61	548	554	845	726
営業外項目	0	2	1	15	3	5	15
税引前利益	89	-80	62	563	557	850	741
資本配賦(十億ユーロ、年初来累計)	7.2	8.2	8.3	8.3	8.2	8.2	8.2
コーポレート・センター(BNP パリ	パ・キャピタル	<b>しおよびクレピ</b>	エールを含む	)			
営業収益	123	-246	194	558	462	1,025	558
営業費用および減価償却費	-123	-184	-205	-177	-255	-283	-411
うち事業再構築費用	-5	-20	-33	-115	-143	-180	-176
営業総利益	0	-430	-11	381	207	742	147
リスク費用	-6	-5	43	-40	38	19	-34
営業利益	-6	-435	32	341	245	761	113
関連会社損益	-22	21	43	32	16	-16	40
その他の営業外項目	3	276	61	13	138	-46	13
税引前利益	-25	-138	136	386	399	699	166



四半期純利益 19 億ユーロ	2
極めて好調な業績	3
リテール・バンキング事業部門	3
資産運用および証券管理事業部門	7
コーポレートバンキング・投資銀行 ( CIB ) 事業部門	8
その他の事業	9
経済危機の後遺症が残る中での堅実なモデルの採用	9
連結損益計算書	11
2010 年度第 3 四半期のコア事業の業績	12
2010 年度 9 ヵ月間のコア事業の業績	13
四半期決算	14

本プレゼンテーションに含まれる数値は、未監査の数値です。2010 年 4 月 19 日に、BNP パリバは、2009 年度決算における事業部門の決算修正を発表しました。かかる修正には、BNP パリバ・フォルティスの業務を当グループの複数事業部門および業務部署に照らして分解し、事業部門間で業務を移管し、さらに、自己資本の配分をリスク加重資産の 6 %から 7%へと高めた事実を反映しています。同様に、本プレゼンテーションにおいて、2009 年度決算および取引高に関わる数値は、次のように遡及修正されています。すなわち、BNP パリバ・フォルティスによる寄与は連結当初の 2009 年 5 月12 日から初めて効力を生じたものの、あたかも 2009 年 1 月 1 日に取引が実行されたかのように修正されています。2010 年度業績を 2009 年度業績と比較するにあたり、「連結範囲変更の影響を除外」した増減率の計算において、BNP パリバ・フォルティスの 2009 年度プロフォーマ・ベースの数値を BNP パリバの同期間の数値に加算し、その合計額と2010 年度の数値を比較しました。

本プレゼンテーションには、将来の事象に関する現在の見解および見通しに基づいた予測的な記述が含まれています。予測的な記述には、財務上の予測や見積もりおよびその基礎となる仮定、将来の事象、事業活動、商品およびサービスに関連する計画、目標および見通しに関する記述、ならびに将来の業績およびシナジーに関する記述があります。予測的な記述は将来の業績を保証するものではなく、BNP パリバとその子会社および出資先企業にまつわる固有リスク、不確実性および仮定によって左右されるものです。さらには、BNP パリバとその子会社の事業展開、銀行業界のトレンド、将来の設備投資および買収、グローバルもしくは BNP パリバの主要地域市場における経済状況の変化、市場競争ならびに規制といった要因にも左右されます。これらの事象はいずれも不確実なものであり、現在の見通しとは異なる結果と、ひいては現在の見通しとは大きく異なる業績をもたらす可能性があります。実際の業績は、予測的な記述において見積りまたは示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。本プレゼンテーションに含まれるいかなる予測的な記述も本プレゼンテーション発行日現在の予測であり、BNP パリバは、新しい情報や将来の事象によって、予測的な記述を公に修正もしくは更新する責任を負いません。

本プレゼンテーションに含まれる BNP パリバ以外の第三者に関わる情報もしくは外部の情報源から入手した情報は、その真実たることを独立に確認したものではありません。ここに記載の情報や意見に関して、表示または保証を表現あるいは示唆してはおらず、またその公正性、正確性、完全性または正当性に関しては確実なものではありません。BNP パリバもしくはその代表者ともに、いかなる過失に対しても責任を負わず、また本プレゼンテーションあるいはその内容の使用により生ずる、もしくは本プレゼンテーションやここに記載の情報や資料に関連して生じる、いかなる損失に対しても責任を負いません。